



久山年神社社報 第二十七号  
たよしの杜



宮司 本田孝裕

『巳（蛇）へび』のお話』

社報の発行日の関係上、少し遅いご挨拶となりましたが、明けましておめでとうございます。本年も久山年神社と、たよしの杜をよろしくお願い致します。

今年には巳年。へび年生まれの方には大変申し訳ないのですが、十二支の中ではどちらかという蛇はあまり人気が無い生き物です。四肢の無いヌルヌルとした細長い生き物が地を這う姿は気味が悪い上、毒を持った蛇もいることから嫌う人が多いことが理由だと思えます。

実際に当神社でも周りが山に囲まれていることもあって暖かい季節には毎日のように境内で蛇を見かける事があるのですが、参拝に来た方から「途中に蛇がいました!」とビックリされる事があります。その度に「神社では蛇だけじゃなくてムカデとかヤモリとか色んな生き物を放し飼いにしていますよ(笑)」と冗談を言っているのですが、普段あまり見ない人からすれば

驚きの方が大きいのでしょうかね。

このように蛇は昔から人々から恐れられながらも一方で信仰の対象としても崇められています。とくに川の側など湿地帯に多く「水神」として崇められることが多いようです。

山の水源との結びつきから「山の神」としても信仰されることもあり、奈良県の大神社（おおみわじんじや）は三輪山そのものがご神体ですが、三輪山の神の化身として蛇の姿をした大物主神（おおものぬしのかみ）が登場する話が日本書紀に記載されています。大神神社では現代でも蛇を「巳（み）さん」と親しみを込めて呼んでおり、福をもたらす生き物として信仰しています。

さらに蛇は脱皮を繰り返す生き物であることから「再生」や「不死」の象徴ともされていて、今と違い昔は人が亡くなった際には土葬してましたが、蛇は土葬の際にできる隙間が最適な棲み家であるといわれており、死者の靈魂が蛇に

乗り移り生まれ変わるといふ言い伝えもあります。また生命力も強いことから滋養強壯の妙薬としても重宝される生き物です。

「蛇の抜け殻を財布の中に入れておくとお金が貯まる」という迷信もありますが、これも蛇を信仰する考えから派生した言い伝えとして考えられるでしょう。その中でも白蛇は縁起が良い蛇だといわれており、白蛇のご利益を得られれば大金を手に入れるなど一攫千金のキララクターとしての役割もあるようです。

日本人は昔から蛇だけに限らず、このような生物を恐れながらも神あるいは神の遣いとして神社に祀り信仰することで共に生活してきました。それは神聖なものに対する畏敬の念の表れといえるでしょうし、十二支の中に蛇が入っていることが何よりの証拠です。

今年には蛇のように古い皮を脱ぎ捨てて、一歩前進した実（み）のある一年となりますようお祈りいたします。



## 令和7年 参賀一覧表

参賀名	性別	年齢	生まれ年
厄入	男性	数え年41歳 (満40歳になる年)	昭和60年生まれ (うし)
	女性	数え年33歳 (満32歳になる年)	平成5年生まれ (とり)
厄明 (厄晴)	男性	数え年42歳 (満41歳になる年)	昭和59年生まれ (ねずみ)
	女性	数え年34歳 (満33歳になる年)	平成4年生まれ (さる)
その他の大厄	男性	数え年25歳 (満24歳になる年)	平成13年生まれ (へび)
	女性	数え年19歳 (満18歳になる年)	平成19年生まれ (いのしし)
還暦	男女とも	数え年61歳 (満60歳になる年)	昭和40年生まれ (へび)
古稀	男女とも	数え年70歳 (満69歳になる年)	昭和31年生まれ (さる)
喜寿	男女とも	数え年77歳 (満76歳になる年)	昭和24年生まれ (うし)
傘寿	男女とも	数え年80歳 (満79歳になる年)	昭和21年生まれ (いぬ)
米寿	男女とも	数え年88歳 (満87歳になる年)	昭和13年生まれ (とら)
七五三	女兒	数え年 7 歳 (満6歳になる年)	令和元年 (平成31年) 生まれ (いのしし)
	男児	数え年 5 歳 (満4歳になる年)	令和3年生まれ (うし)
	男女とも	数え年 3 歳 (満2歳になる年)	令和5年生まれ (うさぎ)

## 令和7年 戌の日一覧表

1月	5日 (日) ・ 17日 (金) ・ 29日 (水)	7月	4日 (金) ・ 16日 (水) ・ 28日 (月)
2月	10日 (月) ・ 22日 (土)	8月	9日 (土) ・ 21日 (木)
3月	6日 (木) ・ 18日 (火) ・ 30日 (日)	9月	2日 (火) ・ 14日 (日) ・ 26日 (金)
4月	11日 (金) ・ 23日 (水)	10月	8日 (水) ・ 20日 (月)
5月	5日 (月) ・ 17日 (土) ・ 29日 (木)	11月	1日 (土) ・ 13日 (木) ・ 25日 (火)
6月	10日 (火) ・ 22日 (日)	12月	7日 (日) ・ 19日 (金) ・ 31日 (水)

【数え年とは】神社でのお祓いは数え年で受けます。数え年とは生まれた年齢が0歳ではなく、1歳から数え始めて年が明けると誰もが一つ年をとるという考え方です。誕生日は関係なく、対象の全ての方が上記の生まれ年に該当します。七五三を除いて、通常はお正月く節分の日までを目安にお祓いを受けます。

【戌の日について】犬がたくさんの子を産みお産が軽いことから、これにあやかり安定期に入る5か月目の戌の日に腹帯を巻き「着帯祝い」の儀式を行います。神社では子宝に恵まれた事に感謝し、母子の健康と安産を願って祈願する事が古くからの習わしとなっています。

### 【神社での祈願】

安産・お宮参り・七五三・厄祓・還暦などの年の祝い・自動車清祓・家内安全・心身健康等の祈願

### 【出張祭典】

地鎮祭・起工式・竣工祭・解体家祓・新築や中古住宅の家祓・井戸埋祭など  
随時受け付けています。

寄付受付中です

毎号お伝えしております、神社改築の寄付のお願いです。

ご寄付をして頂いた方は少しずつ増えておりますが、まだまだ目標額にはほど遠く、なにとぞ重ねてお願い申し上げます。

寄付について不明なことがありましたら、ご遠慮なくお尋ね下さい。

五万円以上の寄付の方には、できるだけ無理が無いよう「分割での寄付」も受け付けています。ご遠慮なくご相談下さい。

寄付は直接、久山年神社社務所までお持ち頂くか、左記の口座へ振り込み願います。(振込手数料は差し引いて構いません)

【寄付振込先】

十八親和銀行 多良見町支店 口座番号(普) 5009504  
 たちばな信用金庫 多良見支店 口座番号(普) 1586247  
 久山年神社記念事業実行委員会 宛

※振込の場合は、振込完了後に神社までご一報下さると幸甚に存じます。(お礼状発送等のため)

久山年神社 社殿百周年改築 奉賛者の特典

寄付額 \ 待遇	寄付額					
	100万円以上	50万円以上	30万円以上	10万円以上	5万円以上	1万円以上
御礼状	○	○	○	○	○	○
御方名社殿掲載	○ (特大)	○ (大)	○ (中)	○ (中)	○ (小)	別途掲載
記念品	○	○	○	○		
特別記念品	○	○	○			
感謝状	○ (額入)	○ (額入)	○ (額入)	○		
完成内覧会	○	○	○	○	○	○
竣工祭参列	○	○	○	○	○	
竣工直会臨席	○	○	○	○		



# 新しい年にはお伊勢さま 氏神さまのお神札を お祀りしましょう

お伊勢さまと氏神さまのお神札は家庭の幸せを願うお神札です。朝には一日の無事を願い、夕には感謝のお参りをします。ご家族揃ってお参りすることは家族の絆を強めることにもなります。ご家族揃って幸せを祈りましょう。

新たにお神札を受けて頂いた方へ特製の神棚をプレゼント中です。詳しくは神社へお問い合わせください。

(数に限りがあります)



## 古神札・古神符焼納祭

二月三日に古い御神札や御守、破魔矢などの縁起物をお焚き上げ致します。当日まで境内のテントに納める箱を置いてますので、期間中にお納め下さい。

お焚き上げ出来る

ものは、神社の御

神札・御守・縁起

物です。

他宗教の御守や、

神社に関係の無い

ものは持ち込まな

いようお願いします。

す。



## 編集 後記

おかげ様で今年の正月もたくさんの方にお参り頂きました。昨年より少し人出は少なかったようですが、ご来社頂いた方には御礼申し上げます。今年も引き続きお参りしやすくなるよう熟慮して神社の運営を進めていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

令和七年 新年



宮司

本田孝裕

責任役員

南条 博

同

山部宣夫

同

木下一郎

同

田中忠昭

総代

中村修一

同

池田正昭

同

佐藤一蔵

他 奉賛会役員一同

本年もよろしく申し上げます

